



礎になって、組織に4つの部会を設けましたが、そのうちの1つ、地域づくり部では特定の事業をせずに、花里のことを考え合うガヤガヤ会議を踏襲しています。ここで出た議論を残りの3つの部で解決に向けて実動します。まさに車の両輪のような関係です。

田邊会長 平成25年にモデル地区の話があり、準備委員会を立ち上げ10回程度会議をしました。その中で、地域のイベントの洗い出しや住民アンケートの実施、準備委員会の動きを伝える町民向け広報紙の全戸配布、まちづくり推進大会の開催などを行い、昨年4月にまちづくり協議会が正式に発足しました。

市長 お互いに長い時間がかかっていますね。

田邊会長 上からのトップダウン

でなく、一人ひとりのボトムアップでないと。確かに会議ばかりでしたが、参加者は熱心な議論をしました。

まちづくりにとって重要だと実感されたことは

「今ほどのお話に幾つかまちづくりのヒントがあったかと思えます。ハードルを低くして誰でも参加できる雰囲気づくり、地域の皆様の思いをアンケートで把握したり、組織の動きを地域の皆様に知っていただいたり。まちづくりに重要なポイントをあらためてお聞かせください。」

田邊会長 とにかく私たちの動きを知ってもらうことが大事です。例えばまちづくり協議会は略称を「まち協」と言いますが、その略称



を地域の皆様が最近普通に使うようになってきました。これだけでも十分ありがたいことです。

門前会長 最近では町内会未加入者が多いので全戸を網羅できる情報発信が大事ですね。まち協のお知らせを全戸配布したり、町内にあるコンビニやスーパーに「まち協」の掲示板を設置させていただき利用することもです。

ところで、町内の役を引き受ける一年二年といういろいろ忙しいので、花里では逆に、好きな時に好きなことだけ手伝っていただけのボランティア隊を作りたいと思っています。その呼びかけには既に地区で運用中のメール配信を使って、登録者にイベントの告知やスタッフの募集などを配信したいです。ホームページやブログは既に立ち上げ、みなさんとの意思疎通・情報伝達のツールに役立てています。

市長 自分でやれることは自分でやったり、手伝えるところは手伝ったりと。また、情報提供や広聴、市民参加の機会創出など、協働のまちづくりの原点だと思います。

サロン花里と

臥龍桜に秘めた思い

「次に両地区の取り組みで特に伺いたいことがあります。まずは、花里地区の「サロン花里」が気になりました。」

門前会長 地区のみなさんには「まち協」の拠点となる場所がほしいという思いがありました。町内には素敵な空き家がありましたので、持ち主の方に話したところ「まちづくりに役立てるなら」と了解をいただき、「サロン花里」として利用していきます。囲炉裏があるので、そこを囲んで、持ち寄った茶菓子で利用者が和やかに過ごせる場所です。さらには町内にお住いの教員OBの方の協力をいただいて、子どもから大人まで



サロン花里